

在学生の声



フレッシュマンセミナーにて

海洋環境科学科 2 年（女子）
名古屋市立菊里高等学校卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

海洋大の海鷹丸が毎年南極で調査を行っていることから、海洋大に興味を持ちました。フィールドワークが豊富で、実際に極域で研究をされてきた先生も多いことを知り、本学を選びました。

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

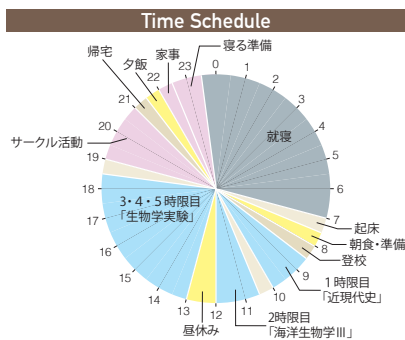
実習で船に乗っているときに、「海洋大に来たんだな」という感じがして嬉しかったです。

◆学科の特長、ユニークなところは？

物理・化学・生物・地学と、幅広い分野から海洋について学び、研究できることです。私は、高校生の時は生物と地学は学んでいませんでしたが、基礎の部分から教わることができ、海洋生物にも興味を持つようになりました。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

1 年次のフレッシュマンセミナーでは、洋上観測や地質調査など、初めてのことも多く難しさもありますが、同じ学科の人と仲良くなれる機会にもなりました。



イルカの骨を並べて学ぶ授業

海洋環境科学科 4 年（男子）
私立武蔵高等学校卒業

◆入学後に印象が変わった点や意外だった点は？

人数が比較的少ないため、学科のメンバー同士での関わりが多く、授業を受けているだけでも仲良くなりやすかった点です。

◆学科の特長、ユニークなところは？

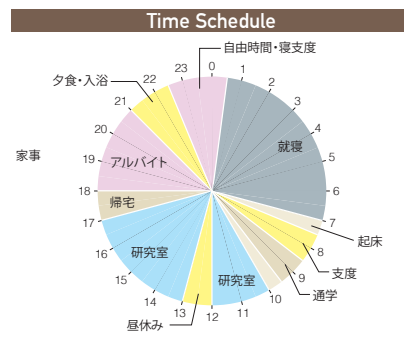
海に暮らす生物について詳しく学べるだけでなく、化学・物理・海洋学なども幅広く基礎から教わるため、入学してから自分のやりたいことを見つけやすいところです。

◆将来の夢、目標は？

まずは大学院に進学し、海の生物がフェロモンや毒などの化学物質をどのように活用して生活しているのかを調べる研究をもっと続けたいと思います。

◆受験生に向けて、ひとこと

本学科は海に関して幅広く学ぶことができ、就職先も様々なので、ただ海や生き物が好きというだけでも入れば学びたい分野が見つかり、楽しめると思います。



卒業生からのメッセージ

木下 堇さん

2021（令和3）年度 海洋資源環境学部海洋環境科学科卒業
2023（令和5）年度 大学院海洋科学技術研究科海洋資源環境学専攻修了
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 底魚資源部

現在の職場では研究員としてデータ収集・解析を行い、ハタハタなどの資源状態を評価する業務に携わっています。大学では水産研究に必要な科目を基礎から応用まで学ぶことができ、現在の業務で大きく役立っていると感じています。何より本学科は物理海洋学や生物学などの授業が豊富で、その上乘船実習なども行っています。私は大学での経験を通して水産はもとより海洋全般の視野が大きく広がりました。環境変動をはじめとする様々な課題を知り、水産資源を持続的に利用し守れる仕事をしたいと思い、現在の職に就きました。他の大学に比べ本学科は非常に個性的で、海洋環境や海洋生物に関心のある皆さんに強く進学を勧めたいです。



在学生の声

千葉県
出身

海鷹丸 船内の様子

海洋資源エネルギー学科 2 年（男子）
University-Hill Secondary School 卒業

◆どうして東京海洋大学を選んだの？

実際に船に乗って行う実習や、海底資源の利用に関連する科学技術について重点的に学べるカリキュラムに魅力を感じたからです。

◆学科の特長、ユニークなところは？

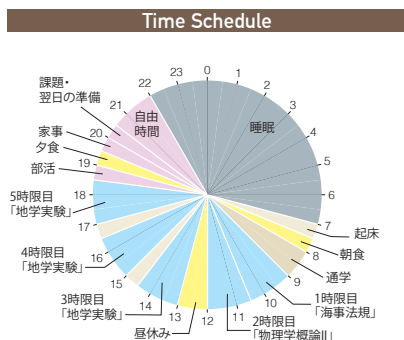
海洋資源エネルギー学科は実習が多く、全体の人数も少ないので、他の学生と親しくなりやすいです。また、海技士を目指しやすい学科なので、船とエネルギーの両方のエキスパートを目指すこともできます。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

フレッシュマンセミナーでは、水質調査や小型船への乗船、着衣泳などの様々な実習があります。普段は座学での学習が基本なので、実習に慣れていない人にとっては大変かも知れませんが、他ではできない貴重な経験になりました。

◆将来の夢、目標は？

将来は海底熱水鉱床の研究に携わりたいです。技術的課題の解決策を模索し、日本経済を資源開発により大きく発展させることが目標です。

鳥取県
出身

乗船実習Ⅱでの寄港中の様子

海洋資源エネルギー学科 4 年（女子）
鳥取県立鳥取西高等学校卒業

◆入学してよかったと思ったのは、どんな時？

乗船の機会がたくさんあったことです。乗船実習では、ブリッジでのワッチやトロール漁、寄港地での観光など、貴重な経験をすることができました。

◆学科の特長、ユニークなところは？

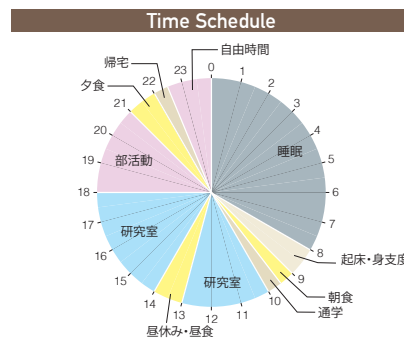
海について、物理・地学・生物など様々な観点から学べることが特徴だと思います。また、船に乗る機会も多く、船舶に関する講義もたくさんあります。

◆実習の楽しさ、厳しさは？

実習では、講義で学んだ機械を実際に動かすところを見たり、操作したりすることができて楽しいと感じます。また、共同での生活が楽しくもありますが、船上は危険もあるため気が引き締まります。

◆受験生に向けて、ひとつ

エネルギー学科では大局的に海を学ぶことができ、乗船の機会もたくさんあるため、海好きな人にはとてもおすすめの学科です。一緒に海洋大で学生生活を楽しみましょう！



卒業生からのメッセージ

加持 恵達さん

2024（令和6）年度 海洋資源環境学部 海洋資源エネルギー学科 卒業
海上保安庁 海洋情報部

私は海底から泥や砂あるいは岩石を採取したり、地震波を用いたりして、海底下の地質構造を調べる仕事をしています。このような科学的資料の収集は、我が国の海洋における領域を管理し保全するという国家プロジェクトの一部であり、科学で日本の海を守ることにつながっています。本学科では海洋を対象として、乗船しての実習も含めてさまざまな視点から幅広く学習することができます。海洋の調査では多様な分野の知見が必要となるため、この基礎知識は重要な土台となっています。加えて専門の異なる教員が多く在籍しているため、興味を持った事柄については質問したり卒業研究で取り組んだり、学びを深める機会もあります。



©海上保安庁 海洋情報部